

## 平成 18 年度 名古屋大学総合技術研究会 参加報告

実習工場班 河野 厚志  
機械系班 中澤 新吾  
電気・電子・情報班 原田 龍一

### 1. はじめに

平成 18 年度 名古屋大学総合技術研究会に参加したので報告します。

### 2. 概要

平成 18 年度 名古屋大学総合技術研究会

開催期間：平成 19 年 3 月 1 日（木）～2 日（金）

参加日：平成 19 年 3 月 1 日（木）の 1 日間

会場：国立大学法人 名古屋大学（名古屋市千種区不老町）

主催：名古屋大学 全学技術センター

### 3. 内容

この研究会は、大学共同利用機関および各大学・高等専門学校の技術者が、日常業務で携わっている各種開発，技術的研究支援活動について発表する研究会で、発表内容も通常の学会等とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫，失敗談等を重視し、技術者の交流および技術向上を図ることを目的としている。（HP より抜粋）

開催分野は 8 分野に渡り、全てを網羅することはできないが、日常の業務に関連する関心の高い分野について聴講した。また、主にポスターセッションにおいては意見の交換などを行った。

### 4. 所感

3 月 1 日は合計で 6 6 件の発表があり、各自 6 件の発表を聴講した。

情報・ネットワーク技術研究会では、SPAM Firewall の導入やネットワーク認証など業務に関連する聴講ができた。特に沼津高専で運用が決定している SPAM Firewall のハードウェアが同メーカーの機種であったため、運用の方針や導入後の問題点など参考になる部分が多かった。

実験・実習研究会では、実践的なものづくり実習の具体的な内容と成果や、ものづくり教育における 3 次元データの利用方法などの聴講ができた。

ポスターセッションでは、終了時間にも関わらず熱心に意見交換をしている様子も伺えた。又、実験・実習における安全対策に関連するポスター発表も多くあり、非常に参考になった。研究内容と併せて、発表方法などを習得する良い機会となった。